



令和7年10月17日
交通政策部

令和7年度物流総合効率化計画認定状況 (9月末現在) をとりまとめました

トラックドライバーの労働時間規制等による輸送能力不足、いわゆる物流の「2024年問題」は、喫緊の課題であると同時に、年々深刻化する構造的な問題でもあります。対策を講じずに経過すると2030年度には34%の輸送力が不足する恐れがあることから、トラック事業者だけでなく、発着荷主、倉庫業をはじめとする物流事業者が連携して、輸配送の効率化や労働環境の改善に取り組むことがとても重要です。

国土交通省では、物流2024年問題の解決策の一環として、また、荷主や消費者ニーズの高度化・多様化に伴う小口化・多頻度化等に対応するため、物資の流通の効率化に関する法律に基づき、「2以上の者の連携」により環境負荷の低減及び省力化に資する流通業務の総合化・効率化の取り組み計画を「物流総合効率化計画」と認定し、支援しております。

今般、令和7年9月末現在の北陸信越運輸局管内における物流総合効率化計画の認定状況を取りまとめましたのでお知らせいたします。

引き続き、計画認定等を通じた流通業務の効率化に対する支援を行い、持続可能な物流体系の構築を進めてまいります。

1. 令和7年度物流総合効率化計画認定 一覧 (9月末現在)

| 実施事業者名 | 事業内容 | 効果 |
|---|-----------------------------|--|
| 1 若松梱包運輸倉庫(株)、若松運輸(株)、F-LINE(株) | 特定流通業務施設の新設に伴う輸送網集約 | CO2排出削減量:22% 手待ち時間削減:65% |
| 2 全国通運(株)、新潟運輸(株)、日本貨物鉄道(株) | 積み合わせ貨物の鉄道モーダルシフト(2系統) | CO2排出削減量:75% ドライバー運転時間省力化:91% |
| 3 ユキグニファクトリー(株)、中越通運(株)、日本貨物鉄道(株)、全国通運(株) | キノコ類、貨物の鉄道モーダルシフト | CO2排出削減量:83.9% 手待ち時間削減:90.7% |
| 4 新潟陸運(株)、近海郵船(株) | RORO船を利用した船舶モーダルシフト | CO2排出削減量:43% ドライバー運転時間省力化:81.7% |
| 5 北越コーポレーション(株)、北越物流(株)、(株)テクノ北越、日本貨物鉄道(株)、リンコー運輸(株)、(株)丸和通運 | 路線貨物の鉄道モーダルシフト | CO2排出削減量:51% ドライバー運転時間省力化:90.3% |
| 6 (株)メタル便、燕運送(株)、(株)アイデックス、伊藤忠丸紅鉄鋼(株)、イグニション・ポイント(株)、(株)興和総合研究所 | ミルクラン方式による集約化、車両相互使用による共同輸送 | CO2排出削減量:30% ドライバー運転時間省力化:42.9% |
| 7 YKKAP(株)、大王製紙(株)、ダイオウロジスティクス(株)、北陸コカ・コーラ(株) | 片荷輸送解消のための共同輸送(2系統) | CO2排出削減量:36% 30% ドライバー運転時間省力化:45% 37.5% |
| 8 日本石油輸送(株)、北陸コーポレーション(株)、北越物流(株)、日本貨物鉄道(株) | 路線貨物の鉄道モーダルシフト(4系統) | CO2排出削減量:64.0% ドライバー運転時間省力化:86.3% |

2. 計画概要

別添のとおり

【お問合せ先】 交通政策部
環境・物流課 芦澤 成田
TEL 025-285-9152

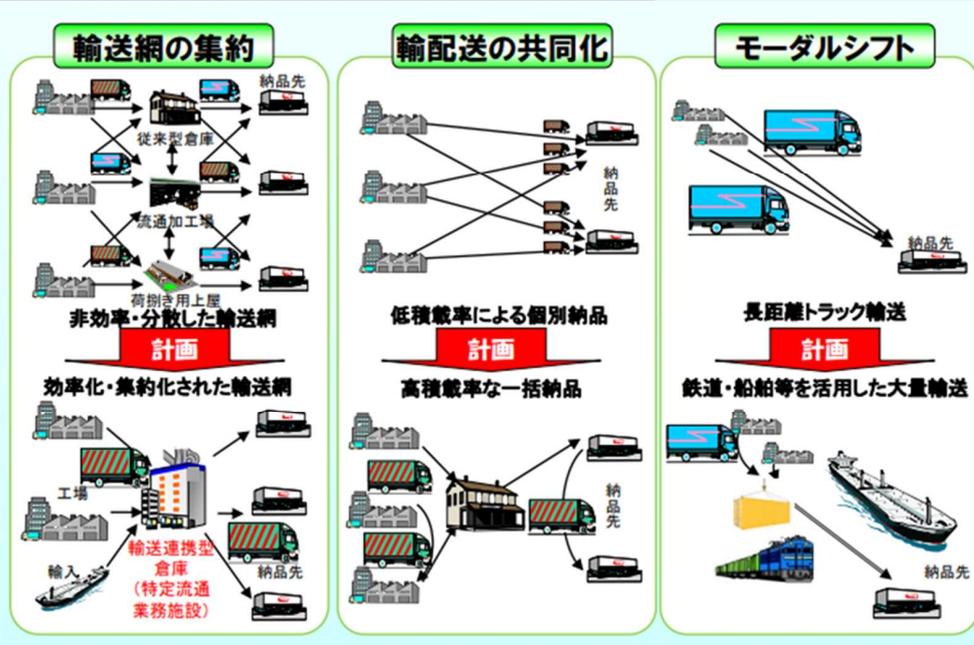
目的

- ・我が国産業の国際競争力の強化
- ・消費者の需要の高度化・多様化に伴う貨物の小口化・多頻度化等への対応
- ・環境負荷の低減
- ・流通業務に必要な労働力の確保

制度の概要

二以上の者が連携して、流通業務の総合化（輸送、荷役、保管、荷さばき及び流通加工を一体的に行うこと。）及び効率化（輸送の合理化）を図る事業であって、環境負荷の低減及び省力化に資するもの（流通業務総合効率化事業）を認定し、認定された事業に対して支援を行う。

支援対象となる流通業務総合効率化事業の例



大臣認定

支援措置

- ① 事業の立ち上げ・実施の促進
 - ・計画策定経費・運行経費の補助
 - ・事業開始に当たっての、倉庫業、貨物自動車運送事業等の許可等のみなし
- ② 必要な施設・設備等への支援
 - ・輸送連携型倉庫への税制特例
 - 法人税：割増償却8%（5年間）
 - 固定資産税：課税標準1/2（5年間）等
 - ・施設の立地規制に関する配慮
 - 市街化調整区域の開発許可に係る配慮
- ③ 金融支援
 - ・信用保険制度の限度額の拡充
 - ・長期低利子貸付制度
 - ・長期無利子貸付制度（主に中小企業向け）
- ④（独）鉄道・運輸機構による支援
 - ・事業実施のための資金の貸付け、融資等

○特定流通業務施設の新設に伴う輸送網の集約

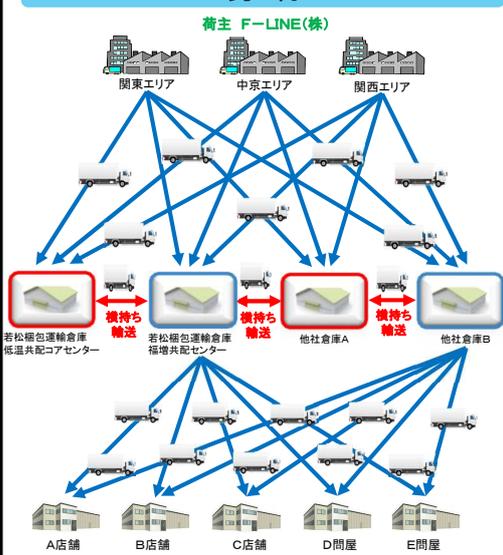
令和7年4月1日 認定

○特定流通業務施設を新設し、分散している物流拠点・輸送網を集約・効率化する取組み（石川県白山市）

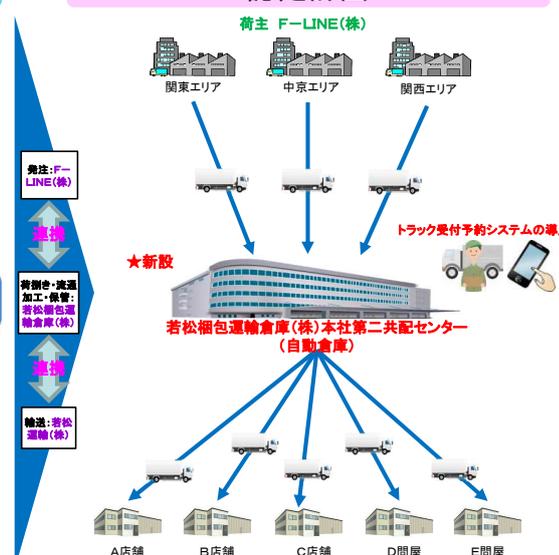
- 若松梱包運輸倉庫は、複数の物流拠点倉庫で荷物の保管・流通加工等を行っているため、非効率な輸送体制となっていることから、「本社第二共配センター」を新設し、物流拠点倉庫及び輸送網を集約して効率化を図り、令和7年5月から業務を開始予定。

- ・流通施設を従来の通過型センター（TC）から、在庫型センター（DC）にも対応していくことによって輸送効率の向上が企図できる。
- ・トラック受付予約システムの導入及び高規格バースを設置する等により、手待ち時間を削減（約65%）。
- ・トラックの台数、走行距離を削減することにより、CO₂排出量を削減（約22%）。

現行



認定計画



<実施事業者>

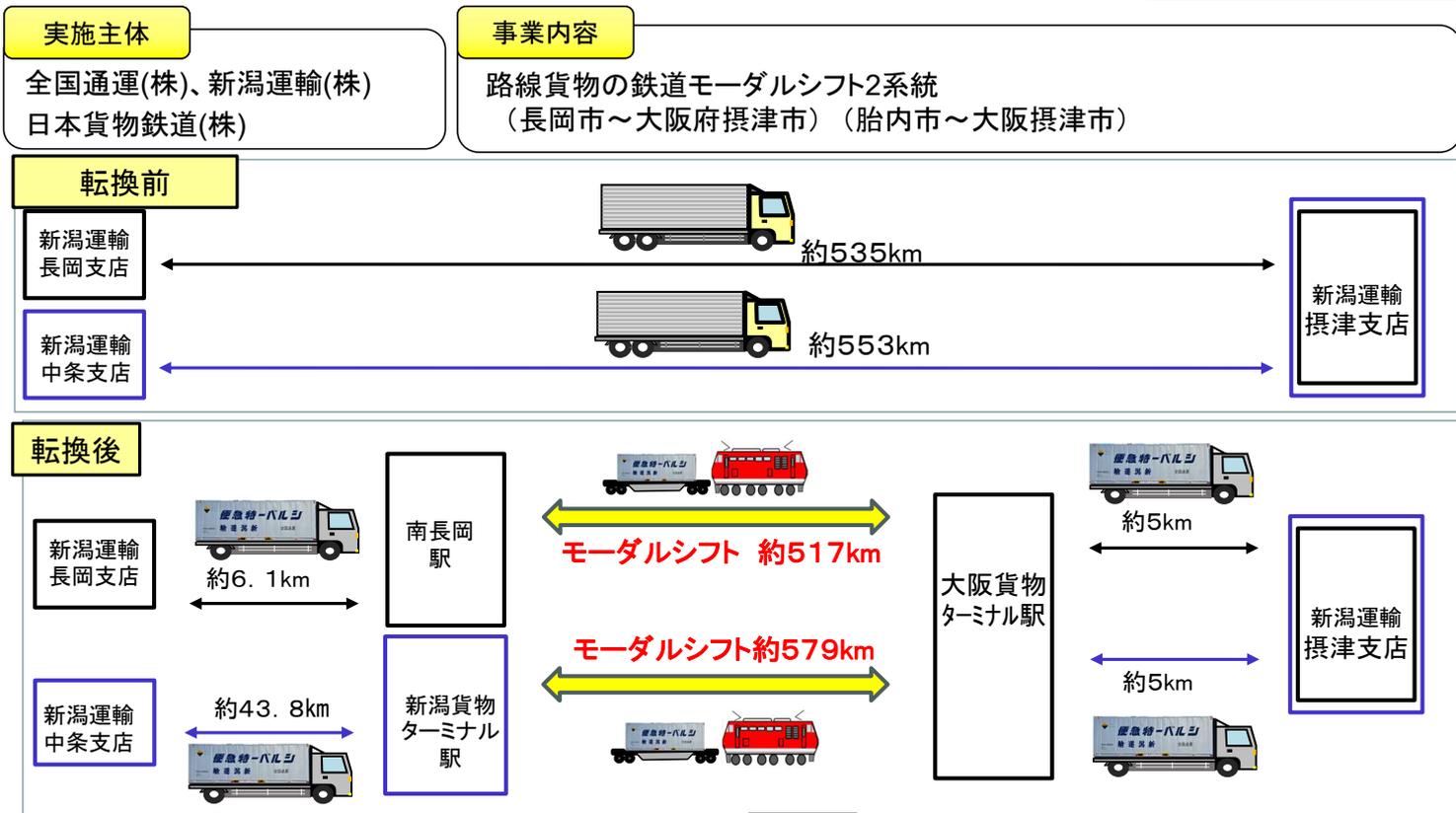
- ・若松梱包運輸倉庫(株)
- ・若松運輸(株)
- ・F-LINE(株)

<特定流通業務施設の概要>

- ・所在：石川県白山市宮永町2375番地
- ・アクセス：北陸自動車道 白山ICから2.3km
- ・容積：82,898m²

○積み合わせ貨物の鉄道モーダルシフト

令和7年6月3日 認定



- 特徴**

 - ・路線貨物の鉄道モーダルシフトによる効率化。
 - ・小型フォークリフト走行可能31ft鉄道コンテナ導入による積み込み作業時間の短縮

効果

 - ・CO₂排出削減量: 351.6t (75%)
 - ・ドライバー運転時間省力化: 6,076.6時間 (91%)

○キノコ類、貨物の鉄道モーダルシフト

令和7年6月18日 認定



- 特徴**

 - ・長距離トラック輸送を鉄道モーダルシフトによる効率化。

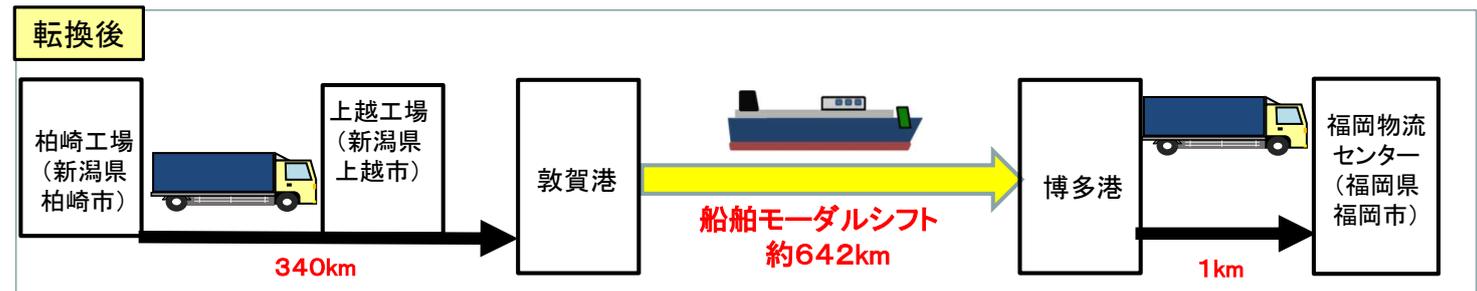
効果

 - ・CO₂排出削減量: 80.7t (83.9%)
 - ・ドライバー運転時間省力化: 1,269.1時間 (90.7%)

ORORO船を利用した船舶モーダルシフト

令和7年7月14日 認定

| | |
|-----------------------------------|---|
| 実施主体 新潟陸運(株) 近海郵船(株) | 事業内容 製菓会社柏崎工場(新潟県柏崎市)及び上越工場(新潟県上越市)で集荷し福岡物流センターに10トントラックで輸送していたものを、敦賀港より博多港の間RORO船による輸送に転換するとともに、パレット化を進める。 |
|-----------------------------------|---|

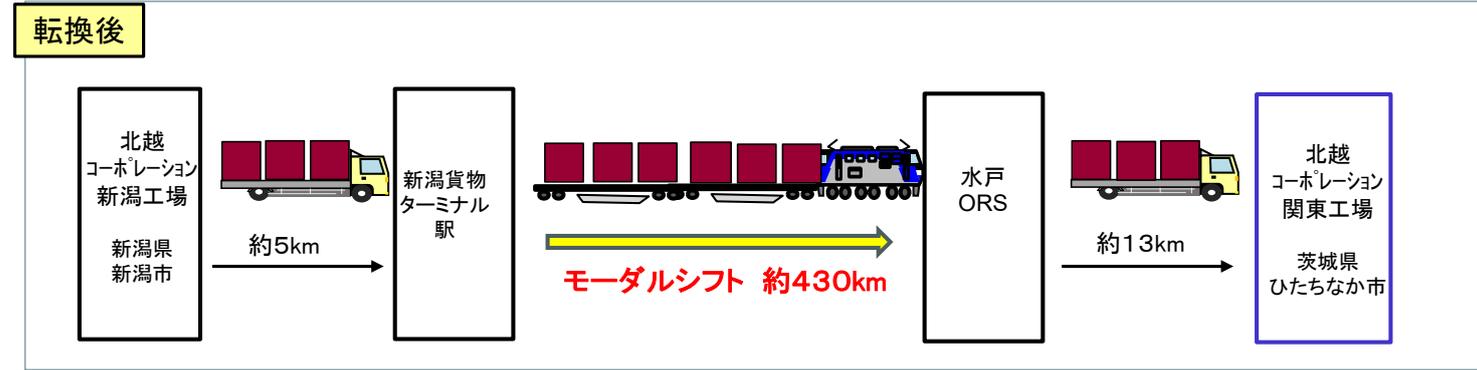


| | |
|-----------------------------------|---|
| 特徴 ・RORO船活用した長距離モーダルシフト | 効果 <ul style="list-style-type: none"> ・CO₂排出削減量: 129.8t (43%) ・ドライバー運転時間省力化: 3,528時間 (81.7%) ・トレーラーの活用により積載容量が増え、輸送効率が上がる |
|-----------------------------------|---|

路線貨物の鉄道モーダルシフト

令和7年7月31日 認定

| | |
|--|-------------------------------|
| 実施主体 北越コーポレーション(株) 北越物流(株) (株)テクノ北越 日本貨物鉄道(株) リンコー運輸(株) (株)丸和通運 | 事業内容 路線貨物の鉄道モーダルシフト |
|--|-------------------------------|



| | |
|--|--|
| 特徴 ・着地最寄りのORSを活用した鉄道モーダルシフトによる効率化。 | 効果 <ul style="list-style-type: none"> ・CO₂排出削減量: 61.5t (51%) ・ドライバー運転時間省力化: 1,554時間 (90.3%) |
|--|--|

○ミルクラン方式による集約化、車両相互使用による共同輸送

令和7年7月31日 認定

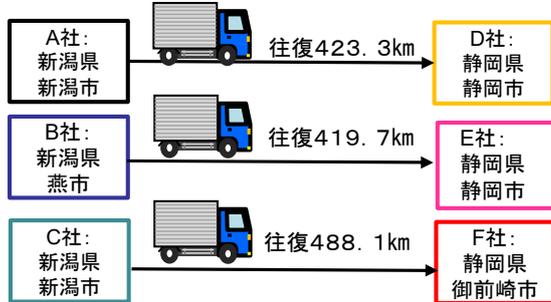
実施主体

(株)メタル便 燕運送(株) (株)アイデックス
伊藤忠丸紅鉄鋼(株) イグニション・ポイント(株)
(株)興和総合研究所

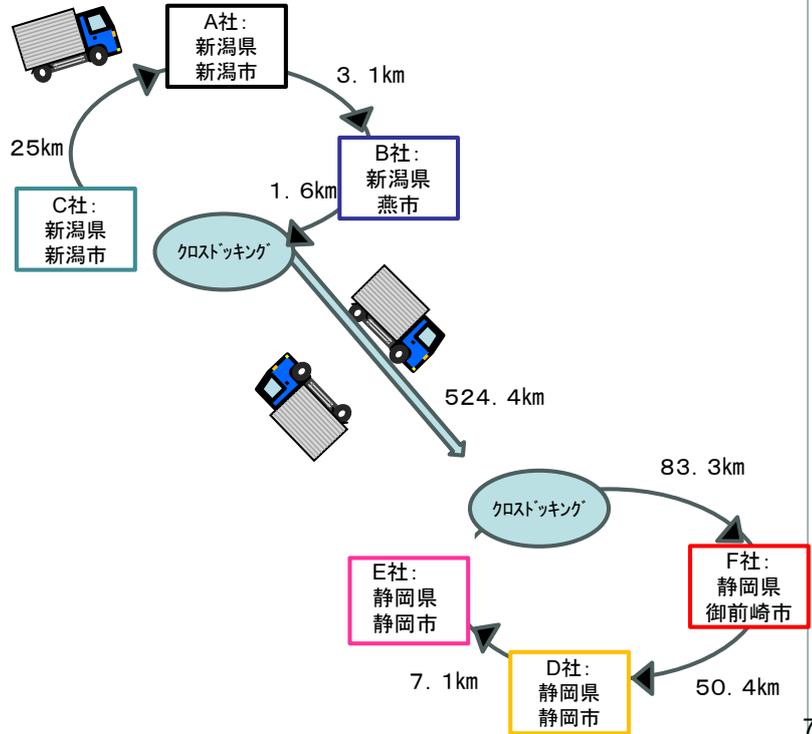
事業内容

新潟県(新潟市・燕市)ミルクラン集荷配送と静岡県(湖西市御前崎市静岡市)ミルクラン集荷配送をつなぐクロスドッキング共同配送

転換前



転換後



特徴

・中継輸送の運行管理車両管理の設定による車両相互使用 統一運行システム管理

効果

- ・CO₂排出削減量: 49.6t (30%)
- ・ドライバー運転時間省力化: 1,487時間 (42.9%)

○片荷輸送解消のための共同輸配送 その1

令和7年8月4日 認定

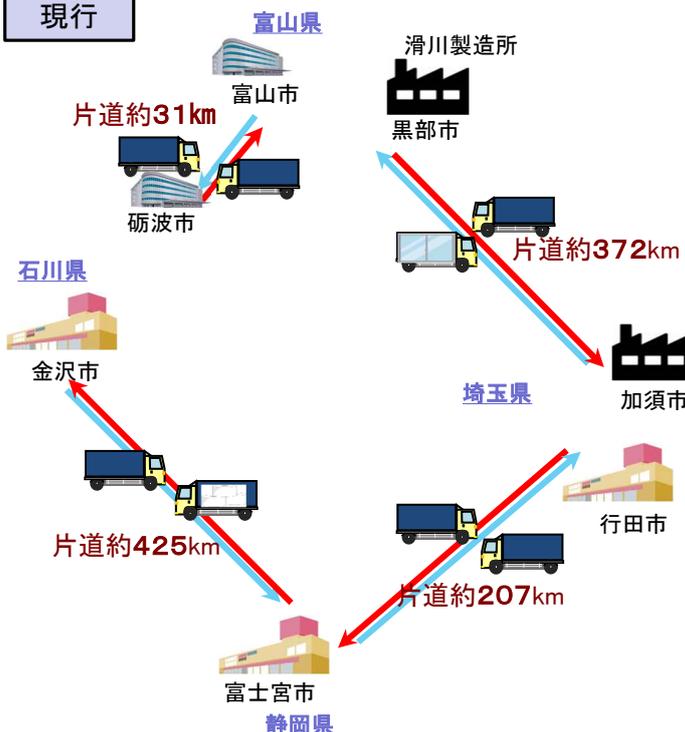
実施主体

YKKAP(株)、大王製紙(株)、ダイオーロジスティクス(株)、北陸コカ・コーラボトリング(株)

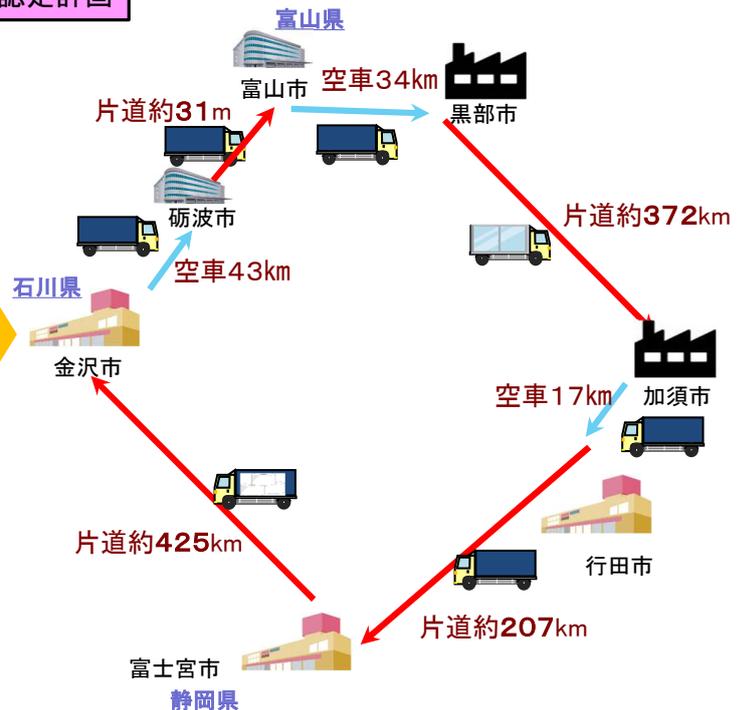
事業内容

(片荷輸送の見直し) 北陸~埼玉~静岡~北陸間の共同輸送により、実車率を高める。

現行



認定計画



特徴

・共同輸配送による効率化

効果

- ・CO₂排出削減量: 53.3t (36.0%)
- ・ドライバー運転時間省力化: 1,488時間 (45%)

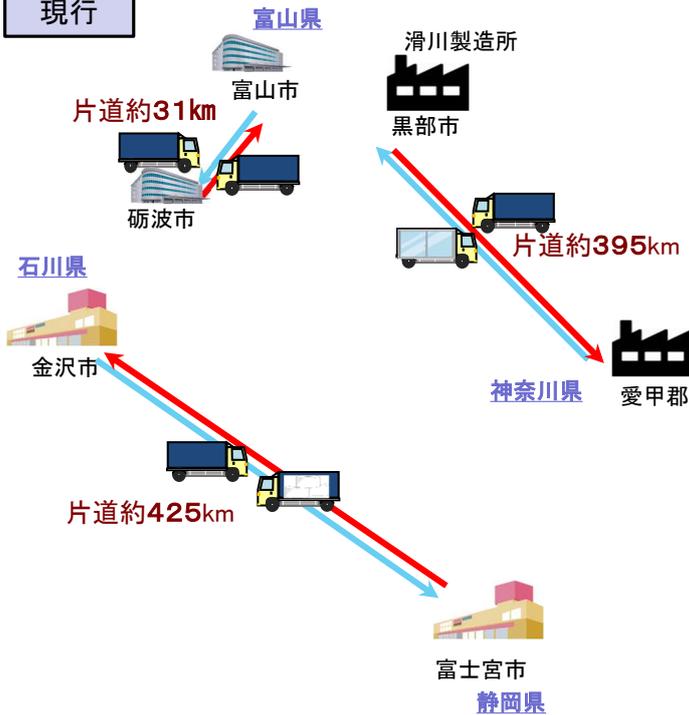
実施主体

YKKAP(株)、大王製紙(株)、ダイオーロジスティクス(株)、北陸コカ・コーラボトリング(株)

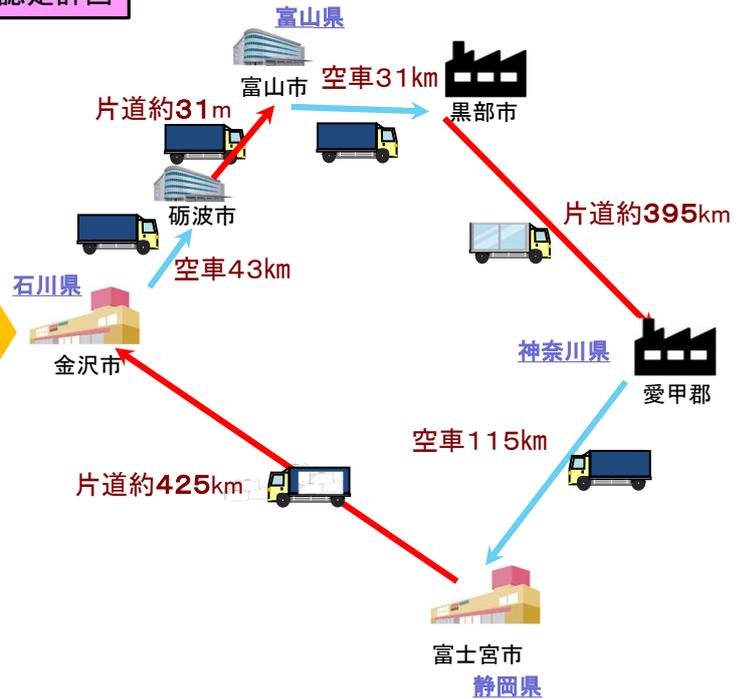
事業内容

(片荷輸送の見直し) 北陸～神奈川～静岡～北陸間の共同輸送により、実車率を高める。

現行



認定計画



特徴

・共同輸配送による効率化

効果

・CO₂排出削減量: 18.3 t (30.0%)
・ドライバー運転時間省力化: 504時間 (37.5%)

○路線貨物の鉄道モーダルシフト(4系統)

令和7年8月8日 認定

実施主体

日本石油輸送(株)、北越コーポレーション(株)、北越物流(株)、日本貨物鉄道(株)

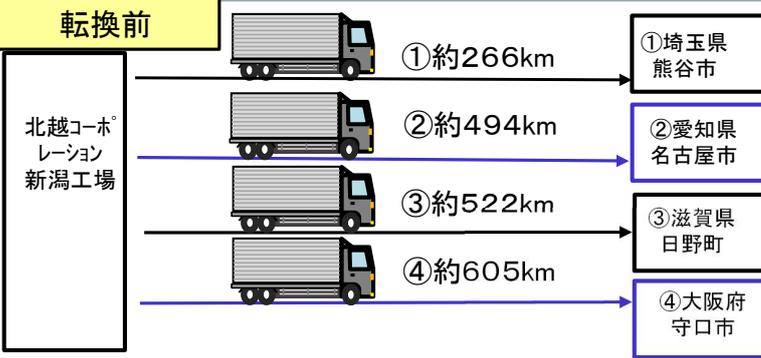
事業内容

路線貨物の鉄道モーダルシフト

新潟工場発

着①熊谷市内倉庫②名古屋市内営業所③日野町内工場④守口市内倉庫

転換前



特徴

・10トントラックと同等の積載が可能な20ft有蓋三方開きコンテナの活用

効果

・CO₂排出削減量: 167.3t (64%)
・ドライバー運転時間省力化: 3,773時間 (86%)

